



波穏やかな久美浜湾と、雄大な日本海を隔てるのは、日本海の季節風や波浪、海流によって砂が運ばれてできた砂州「小天橋」です。それらを見守るように湾のほとりにそびえる「かぶと山」は昔から「神の山」として崇められてきました。この地域には、「神」がつく地名や、古墳がたくさん残り、自然を神として生きてきた古代の人々の暮らしがうかがわれます。久美浜湾遊覧船では船上から自然が造り出した地形の妙を眺めることができます。

凡例

- 遊歩道
- 遊覧船のコース
- 主な見どころ
- P 駐車場
- ♿ トイレ
- ♨ 日帰り温泉
- 🍴 レストラン
- 🏊 海水浴場
- 👉 カヌー・SUP・シーカヤックのエントリー可能

“悠久の時を奏でる神の箱庭”
【久美浜湾とかぶと山】

情報を得るならここ!
小天橋観光協会
tel.0772-83-0149

クイズ
久美浜湾はなぜ牡蠣の養殖が盛んなのでしょうか?

9 牡蠣棚の風景

久美浜湾遊覧船
tel.090-8217-7623
tel.0772-82-0045
遊覧船のりば
運行期間：通 年

かみだにたちのみや
2 神谷太刀宮(神谷神社)

1 久美浜の街並み

かみだにたちのみや
2 神谷太刀宮(神谷神社)

情報を得るならここ!
久美浜町観光総合案内所
tel.0772-82-1781

かつては神山と呼ばれ、かみやまが訛って兜山と呼ばれたという説もある。山頂には熊野神社と久美浜湾と小天橋が見渡せる回遊型の展望台があります。

散策モデルコースMAP「かぶと山登山」あり!

美しい自然を守るため、石や植物は観察するだけにしましょう。危険な場所や立ち入り禁止の場所には、入らないようにしてください。持って帰るのは楽しい思い出と写真、そして地元のおみやげ!

カヌー等を利用される方へ

- ・丹後の海岸は潮の流れが複雑です。インストラクターの同行をおすすめします。技術に自信がない方や少しでも不安を感じる場合は出航を見合わせてください。
- ・港付近では漁船等の通行に十分注意してください。波があると漁船から見えにくくなります。旗を立てる等、発見されやすいようにしてください。

1 久美浜の街並み



市街地中心部は江戸時代に幕府の直轄地として代官所が、明治初期には久美浜県庁が置かれ、北近畿の政治・経済の中心として栄えたまちです。「豪商稲葉本家」などのスポットもあり、しっとりした風情があります。

2 神谷太刀宮(神谷神社)



丹後平定を命じられた四道将軍・丹波道主命が出雲より大国主命をお招きして祀った神谷神社。その丹波道主命の神魂として『国見剣』を祀ったのが太刀宮です。この二つが合祀されて現在の名前に至ります。『国見剣(くにみのつるぎ)』の『国見』が訛って『久美』となり、『久美浜』の語源になったと言われています。境内には大岩の「磐座」が鎮座しています。

3 かぶと山



久美浜湾の南東には標高191.7mの円錐形をした「かぶと山」がそびえています。この山は地層の中に入り込んで固まった流紋岩が、その後周囲の地層だけが侵食された結果、取り残されてできました。かぶと山山頂からは、久美浜湾や小天橋の絶景が展望できます。

4 丹後砂丘



京都府最大の砂丘地帯。日本海から吹く季節風で砂が大量に集まりできました。砂丘地帯は地中がやわらかく、根菜類がたくましく育つことができるので、サツマイモやナガイモなどが育てられています。また、水はけがよく、水や肥料のコントロールがしやすいことなどから、スイカやメロンなども栽培されています。

5 箱石海岸



箱石海岸周辺では、日本特産種のトウテイランをはじめ、ハマゴウ、ハマヒルガオなど50種以上の貴重な海浜植物が自生しています。昭和30年代までは、一帯で美しい景観が保たれていましたが、環境の変化などでその数は少なくなりました。現在はこの豊かな環境を守ろうと保全活動が進められています。

6 小天橋



久美浜町湊宮から箱石にかけて久美浜湾と日本海を分ける砂州は、日本三景の一つ「天橋立」を思わせることから「小天橋」と呼ばれています。砂州の日本海側は美しい砂浜が広がり、海水浴場になっています。砂州の砂は、そのまま東にある丹後砂丘へつながっています。

7 旭の千石船もやい岩



旭港は、久美浜周辺で唯一大型船が出入りできた港で、江戸時代は熊野郡(現在の久美浜一帯)の上納米を、千石級の船で、この港から積み出し、また諸国の大型船が寄港しました。今も大型船をつないだ「もやい岩」が残っています。

8 風蘭の里蒲井



やや入り込んだ岩石海岸の中にある小さなビーチは、波穏やかで遠浅。海水浴・磯遊び・釣りが一カ所で楽しめます。海を展望できる「ツリーハウス」や「カキ小屋」があり、シーカヤック体験もできます。

9 牡蠣棚の風景



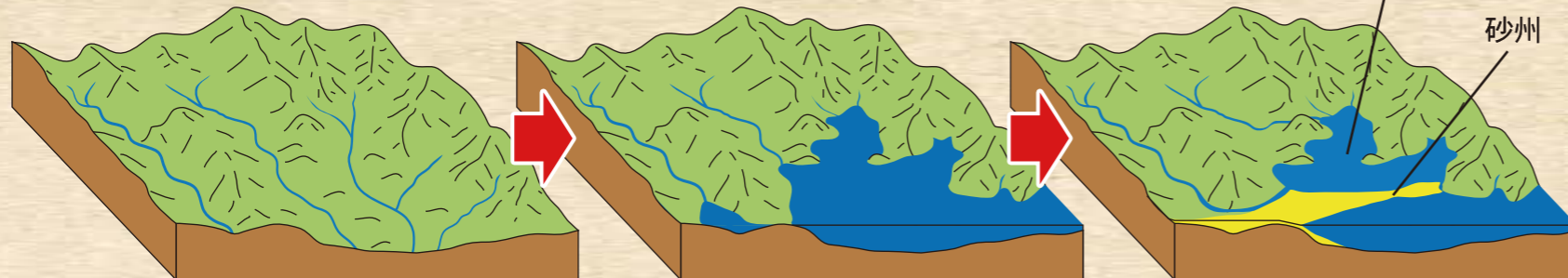
久美浜湾は、閉鎖性の強い内湾のために、波荒い日本海に面しているながら波静かで、しかもカキが成長するために必要なプランクトンも多く、養殖に適した条件を備えています。カキの他に、クルマエビ等の養殖もされています。湾に浮かぶ牡蠣棚の風景は、京都府選定文化的景観となっており、久美浜の風景に彩りを添えています。

10 大明神岬



久美浜湾の西から突き出した岬がこの「大明神岬」です。岬の付け根には、ゴルフ場があり、岬の北には、小天橋の海岸線が望めるなど、非常に風光明媚な場所です。久美浜湾の南から、大向水道を経て日本海に出るような場合は、湾内にて左手に大明神岬が確認できるはずですよ。

ジオコラム 1 ラグーンと砂州の作り方



①風雨や河川などによって大地が削られる。

②海面が上昇し谷が入り江や湾になる。

③砂が運ばれ湾の入り口をふさぐ。

※イラストはイメージです

久美浜湾がある場所は、海面が低かった氷河期には大きな谷で、それが海面上昇で海に沈み、大きな入り江になりました。その後、日本海からの季節風や波浪、海流などにより砂が運ばれ入り江の

入り口にたまり砂州となり、外海と内海を隔てました。こうしてできた潟湖(ラグーン)が久美浜湾で、外海のように荒れることがないので養殖いかだを浮かべておくことができます。

ジオコラム 2 千石船の寄港と久美浜の豪商



千石船が寄港できる港があった久美浜は海上物流の要衝となり、商いで財を成した豪商も複数誕生しました。

江戸時代後期から昭和初期の豪商、稲葉氏はこの地にて廻船業を営み巨富を得、付近諸藩の金融を独占するほどでした。久美浜の土居地区にある稲葉氏の邸宅『稲葉本家』は現在公開されており、母屋や庭園などを見学することができます。

クイズの答え

左記の「ジオコラム1」を見てね

山陰海岸ジオパーク
京丹後市情報センター
(道の駅てんきてんき丹後内)
tel.0772-75-1411

京丹後市観光公社
tel.0772-72-6070

[制作] 山陰海岸ジオパーク推進協議会
兵庫県立大学大学院
地域資源マネジメント研究科